

# 彦春町茜

文想感書誌  
論本體

第9回



読書感想文

『国体論』

第9回

著者：茜町春彦

概要：白井聡著『国体論（集英社新書）』を少しずつ読み進めながら、感想文を投稿しています

・  
この記事は第9回となります。

読者対象：戦前戦後の国家体制に関心のある人

ちょっと引用します。

(P92)・・・ここで注目すべきは、憲法および議会をセットとして、1890年に教育勅語が発布されたことである・・・天皇の名において出された教育勅語は、このような文脈において、封建時代を生きてきた国民にとって馴染み深い儒教的な通俗道徳を援用することで、権利主張と要求に対してタガをはめるものとして企図された・・・国民の権利主張と要求は、日本が近代国家を名乗る以上公認されるべきものであったが、まさにそれは「国体に抵触しない限りにおいて」公認されるものでなければならず、そのような制約を国民が自発的に内面化するよう導くための装置として、教育勅語は導入された・・・

引用を終わります。

つまり国民は国家に逆らうな、と云うことですね。政府高官の云う事を唯々諾々と聞く従順な国民を育てるために教育勅語があったということですね。

そして呆れることに、現政権は教育勅語を学校教育に導入する隙を狙っているみたいですが、夢よもう一度と云うことでしょうか、どうでしょう、わかりませんが・・・まあ国民主権が癩に障るのでしょねえ・・・

(次回へ続く)

## 後書き

---

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 国体論：2018年4月22日第1刷発行 白井聡著 集英社新書

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）
- カクヨム （小説投稿サイト）
- BOOTH （物販サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2018年5月26日発行

読書感想文『国体論』第9回

<http://p.booklog.jp/book/122247>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122247>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト